

令和元年度大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会 議事録

令和元年度大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会は、令和2年2月13日（木）午後2時00分、大津町役場仮庁舎2階大会議室において開催された。

1. 当日の出席者は次のとおりである。

被保険者代表	西岡 逸郎、西岡 智子、太田 昭子、小西 壽美恵
公益代表	佐藤 真二、吉永 敏明、田口 昌稔、寺本 慎治
医師会代表	岩上 英一、柴田 昌一朗
薬剤師会代表	花岡 亮介
欠席者	前澤 浩

2. 当日の議案説明のために出席した者は次のとおりである。

住民福祉部長	豊住 浩行
健康保険課長	保々 英樹
税務課長	村上 博文
税務課 管理係	後藤 謙介
健康保険課 国保・医療係長	緒方 るみ
健康保険課 健康推進係長	上田 雅子
健康保険課 国保・医療係	渡辺 智美

3. 当日の議案は次のとおりである。

（別紙の記載）

4. 閉会 午後3時30分

開 会

ただ今から令和元年度大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会を開会いたします。

委嘱状交付

（田中副町長から代表して佐藤真二委員へ交付）

副町長挨拶

（田中副町長挨拶）

委員紹介

(各委員の自己紹介)

会長選任

(佐藤真二委員を選任)

会長挨拶

(佐藤会長挨拶)

職員紹介

(各職員の自己紹介)

〔議 事〕

会 長：「国民健康保険の概要について」、「平成30年度大津町国民健康保険特別会計決算の概要について」、「令和2年度大津町国民健康保険特別会計予算（案）の概要について」、一括して説明をお願いします。

(資料に基づき、国民健康保険の概要、平成30年度大津町国民健康保険特別会計決算の概要、令和2年度大津町国民健康保険特別会計予算（案）の概要について、パワーポイントを使用して説明)

会 長：質疑並びにご意見はありますか。

委 員：特定健診受診率が上昇しているのに反して平成30年度の予算よりも令和2年度の予算が減少しているはなぜですか。

事務局：令和2年度の予算は、平成30年度の実績をもとに作成しているため、より実績に近い予算を計上しています。

委 員：人間ドックの補助は、現在25,000円が上限となっていますが、見直されないのですか。以前は健診費用の7割を補助されていて、その後、日帰り人間ドック費用の7割が約25,000円だったため、定額補助で25,000円、オプション等は自己負担として設定されていたと思います。しかし、最近の人間ドック費用は以前より高額となっているので、補助の見直しを検討してはいかがでしょうか。

事務局：貴重なご意見をありがとうございます。近隣市町村と補助額を統一していると思いますので、確認して検討していきます。

会 長：特定保健指導実施率は年々上昇していて平成 30 年度は 70.0%ですが、高額医療費の実績が下がっていないように思われますが、特定保健指導の成果はどのように判断するのですか。

事務局：全体的な成果の検証はできていませんが、重症化する前に健診結果に応じた訪問指導を行っており、検査結果が改善されている方も多数おられます。今後は、KDB データ（医療・介護・健診の総合データ）を活用した分析を行い、特定保健指導等の効果が数値で検証できるよう取組みを進めていきたいと思っています。

委 員：こども医療費の自己負担導入を検討してはいかがでしょうか。全額を自己負担なしで現物給付されていますが、そうすると国保の財政調整交付金で国からもらえる金額が減ると思いますし、自己負担を導入することで頻回受診・重複受診を保護者が控え、こども医療費の抑制にも繋がるのではないかと思います。

事務局：こども医療費の自己負担の無償化については、子育て世代の経済的な支援を行うことで、大津町に移住していただくことを大きな目的として行っているところです。こども医療費の助成内容は、子育て世代にとって、近隣の市町村と住みやすさを比べるための指標のひとつとなるため、自己負担の無償化については、近隣市町村の状況等も考慮しながら検討していきたいと思っています。

会 長：他に質疑等ありませんか。（質疑なし）

会 長：全体的に質疑等はありませんか。（質疑なし）

開 会

以上をもちまして、令和元年度大津町国民健康保険事業の運営に関する協議会を閉会します。